

ひきだし

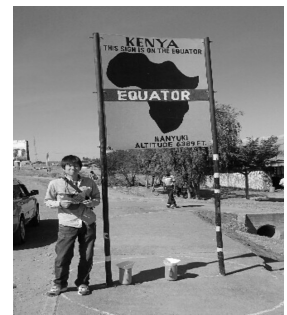
赤道直下の国ケニアで

大月 義徳さん 理学部支部

前回、この「ひきだし」に文章依頼をされたのは2010年6月。その時は、中国・内モンゴル自治区での沙漠化調査の様子を話題にしました。その仕事とほぼ並行して、東アフリカ・ケニア共和国での地形地質調査を継続しており、ここでも沙漠化と関係の深い、土砂流亡や土地荒廃の過程と仕組み、およびそうした自然環境のもとに居住する人々の生活のしかたやその変化を、人文社会系研究者らと共同で明らかにしようとしています。

ケニアでの調査地は、赤道の北40kmから南60km 標高にしてヴェクトリア湖畔1140mからケニア山に近い3000m弱の範囲にいくつか点在し、夜中も暑くて眠れない場所

町も多いケニアですが、



もあれば、夕方の風の寒さに打ち震えながら調査機械を扱う場所もあります。宿泊拠点によつては、毎日朝夕2回、赤道を越えて調査地を往復することがあります。

写真は国道沿いにある赤道の看板（手前が北半球、奥が南半球）で、下に2つの漏斗が置かれています。看板の前後で漏斗に水を注ぎ、渦の巻き方が左右逆になるのを通りがかりの人々に見せ、見物料を巻き上げようとする？ ための道具です。実は、水の注ぎ方などで左右の渦を作り分ける、商人の技によるものですが（看板の横に写っているのは、同行日本人大学院生で売人にあらず）… のんびりとした田舎

アンテナ

理学部支部

ビール祭り報告

理学部支部では、恒

例（？）となりましたビール祭りを新入会員歓迎の意味もこめて、去る10月9日（金）に名取のサップロビール園にて開催しました。

当日は新入会員4名を含む17名の参加があり、同じ理学部キャンパスにいても学科が異なると思われはなかなか顔を合わせる機会のないメンバーとも会話が弾み、楽しく盛り上がり有意義な会となりました。

この数年はとくに首都を中心に、イスラーム過激勢力による襲撃事件がしばしば発生し、テロの脅威が増大しているとみられています。渡航の度に緊張感も高まりますが、これまでの「事件に巻き込まれないよう用心を重ねる」から、「日本人だから狙われる」という時代への移行を加速させるような近年の日本の政治情勢には、深く憂慮せざるを得ません。

病院支部

再雇用された方を

囲む会

11月26日病院近くのお蕎麦屋さんを借りきって、2015年3月に退職し再雇用された方を囲む会を行いました。5名の退職者のうち3名が参加してくれました。鴨鍋を囲みながらの和気あいあいの会でした。

長い年月の組合活動歴を振り返り、昔は毎週

執行委員会があり、結構大変だったけれど、医大懇や女性部や青年部の全国大会でいろいろな地域に行き、楽しい思い出ばかりとの話を聞くことができました。

工学研究科支部 芋煮会とはらこ飯会で交流

11月19日、芋煮とはらこ飯を食べながら、短い時間でしたが未組員2名を含む13名が出席しました。話題は改正労働契約法にかかわる雇止め動きについてです。

冒頭に工学分館の組合員から本館で時間雇用職員の3年であった雇用限度が団交によって5年に改善されたこととの報告がありました。准・時間雇用職員からはこれまでの待遇の話や、「私はいつまで働けるの」等、心配の声

今年、暖かく穏やかなお正月を迎えることになりました。私は、今年還暦を迎える年男です。若い時は定年を迎えるとは思いませんでした。

これからの日程

が出され、時間はあつと言う間に過ぎてしまいました。

- 2/11 (木) 信教・思想・報道の自由を守る 宮城県民集会
- 2/20-21 (日) 全大教「春・新歓期に向けた合同地区別単代[北海道・東北地区]
- 2/27-28 (日) 全大教病院協議会総会
- 3/5-6 (日) 東北地区協議会職種別懇談会
- 3/8 (火) 2016国際女性デー第51回宮城県集会

編集後記

今年は、暖かく穏やかなお正月を迎えることになりました。私は、今年還暦を迎える年男です。若い時は定年を迎えるとは思いませんでした。 災いは去る（サル）ようにみんなが良い年 にしましょう。

(編S)